

2012年10月3日
イオン株式会社

イオンは地域の方々とともに沿岸の被災地に3,000本を植樹します 10/7(日)宮城県気仙沼市で「海への森の植樹祭」を実施

イオンは、10月7日(日)宮城県気仙沼市^{はしかみ}階上において、NPO法人「海への森をつくろう会」ならびに気仙沼市と共催で「海への森の植樹祭」を実施します。

気仙沼市階上地区の皆さまで組織する「海への森をつくろう会」は、東日本大震災の津波により甚大な被害を受けた沿岸部にみどりのある風景を取り戻す「海への森」構想の実現に向けて活動されています。この構想は、被災瓦礫と土を混ぜ合わせて土台を作り、そこに地域に自生する木々を植樹することにより、沿岸部の防潮林の形成を目指すものです。

当社はこの構想の趣旨に賛同し、「海への森をつくろう会」の方々や気仙沼市とともに、「海への森の植樹祭」を実施することとなりました。このたびの植樹は気仙沼市における初の海岸植樹です。当日は、地域のボランティアの方々やイオングループ6社の従業員約500名が、タブやヤブツバキ、オオヤマザクラなど地域に自生する木々3,000本を植樹します。

震災で失われたみどりを再生するべく、イオンは本年3月に塩釜市で実施した1,200本の植樹を皮切りに、10年間にわたる30万本の植樹活動を開始いたしました。このたびの植樹に加え、11月には石巻市で15,000本の植樹を実施する予定です。

イオンは、復興への願いをカタチにするべく、被災地の方々と手を携え、これからも被災地の復興、そして「夢のある未来」の実現に向け、さまざまな取り組みを行ってまいります。

記

1. 日 時：10月7日(日)10:00~12:00
2. 場 所：宮城県気仙沼市階上波路上原118
3. 植樹本数：3,000本
4. 植樹樹種：地域に自生する約20種
(タブ、ヤブツバキ、ケヤキ、オオヤマザクラ等)
5. 植樹面積：1,000m²
6. 参加人数：約500名
7. 主な出席者：気仙沼市長 菅原 茂 様
NPO法人「海への森をつくろう会」代表 菅原 信治 様
イオン(株)専務執行役 イオン東北代表 村上 教行
イオンリテール(株)取締役兼執行役員副社長 東北エリア強化推進担当兼東北カンパニー支社長 近澤 靖英
8. 主 催：NPO法人「海への森をつくろう会」、気仙沼市、イオン(株)